

大阪府子どもの生活に関する実態調査の概要

子どもが抱える課題に対する取り組みの充実や改善につなげていくため、大阪府との共同実施により、子どもの生活実態や学習環境などを把握する「大阪府子どもの生活に関する実態調査」を実施しました。

【調査対象】

- 小学5年生とその保護者
- 中学2年生とその保護者

【調査期間】

令和5年7月12日～7月31日

【調査方法】

市立全小・中学校の約半数のクラスに対して学校から配付、郵送又はオンラインによる回収

【回収結果】

区分	調査件数	有効回答数		有効回答率
小学生 中学生	3,758 件	合計 1,432 件	小学生 815 件 中学生 606 件 学年不明 11 件	38.1%
保護者	3,758 件	合計 1,527 件	小学生の保護者 800 件 中学生の保護者 593 件 学年不明 134 件	40.6%

★小学生・中学生向け調査

○学年と性別

	全 体		小学生		中学生		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
調査数	1,432	100.0	815	100.0	606	100.0	11	100.0
男子	628	43.9	375	46.0	250	41.3	3	27.3
女子	737	51.5	404	49.6	327	54.0	6	54.5
その他	6	0.4	2	0.2	4	0.7	-	-
答えたくない	41	2.9	23	2.8	16	2.6	2	18.2
無回答	20	1.4	11	1.3	9	1.5	-	-

★保護者向け調査

○世帯構成

	全 体		小学生の保護者		中学生の保護者		学年不明	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
調査数	1,527	100.0	800	100.0	593	100.0	134	100.0
お母さん	1,453	95.2	762	95.3	559	94.3	132	98.5
お父さん	1,370	89.7	722	90.3	530	89.4	118	88.1
姉・兄	761	49.8	400	50.0	290	48.9	71	53.0
妹・弟	691	45.3	356	44.5	268	45.2	67	50.0
おばあさん	98	6.4	56	7.0	37	6.2	5	3.7
おじいさん	67	4.4	33	4.1	30	5.1	4	3.0
その他	28	1.8	16	2.0	11	1.9	1	0.7
無回答	25	1.6	13	1.6	12	2.0	-	-

○世帯人数

	全 体		小学生の保護者		中学生の保護者		学年不明	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
調査数	1,527	100.0	800	100.0	593	100.0	134	100.0
2人	34	2.2	19	2.4	12	2.0	3	2.2
3人	225	14.7	113	14.1	94	15.9	18	13.4
4人	752	49.2	384	48.0	296	49.9	72	53.7
5人	374	24.5	199	24.9	143	24.1	32	23.9
6人	77	5.0	46	5.8	25	4.2	6	4.5
7人	22	1.4	14	1.8	8	1.3	-	-
8人	11	0.7	8	1.0	2	0.3	1	0.7
9人	7	0.5	2	0.3	5	0.8	-	-
10人以上	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	25	1.6	15	1.9	8	1.3	2	1.5

○世帯構成と保護者の就労状況

	全 体		ふたり親世帯		母子世帯		父子世帯		その他世帯		無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
調査数	1,527	100.0	1,343	100.0	110	100.0	27	100.0	22	100.0	25	100.0
正規群	1,299	85.1	1,187	88.4	57	51.8	20	74.1	14	63.6	21	84.0
自営群	120	7.9	113	8.4	2	1.8	2	7.4	1	4.5	2	8.0
非正規群	78	5.1	25	1.9	45	40.9	3	11.1	4	18.2	1	4.0
無業	9	0.6	5	0.4	3	2.7	-	-	1	4.5	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	21	1.4	13	1.0	3	2.7	2	7.4	2	9.1	1	4.0

○2022年の世帯の手取り収入の合計額

	保護者全体		小学生の保護者		中学生の保護者		学年不明	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
調査数	1,527	100.0	800	100.0	593	100.0	134	100.0
100万円未満	32	2.1	24	3.0	6	1.0	2	1.5
100～200万円未満	57	3.8	31	3.9	21	3.5	5	3.7
200～300万円未満	78	5.1	43	5.4	28	4.7	7	5.2
300～400万円未満	107	7.0	54	6.8	44	7.4	9	6.7
400～500万円未満	123	8.0	65	8.2	48	8.1	10	7.4
500～600万円未満	201	13.2	100	12.5	86	14.5	15	11.2
600～700万円未満	179	11.7	85	10.6	80	13.5	14	10.4
700～800万円未満	153	10.0	77	9.7	62	10.4	14	10.4
800～900万円未満	108	7.1	55	6.9	43	7.2	10	7.5
900～1,000万円未満	92	6.0	46	5.8	37	6.2	9	6.7
1,000～1,100万円未満	56	3.7	37	4.6	15	2.5	4	3.0
1,100～1,200万円未満	19	1.2	11	1.4	7	1.2	1	0.7
1,200～1,300万円未満	18	1.2	9	1.1	5	0.8	4	3.0
1,300～1,400万円未満	8	0.5	6	0.8	2	0.3	-	-
1,400～1,500万円未満	7	0.5	4	0.5	2	0.3	1	0.7
1,500万円以上	19	1.3	10	1.3	9	1.6	-	-
わからない	124	8.1	63	7.9	51	8.6	10	7.5
無回答	146	9.6	80	10.0	47	7.9	19	14.2

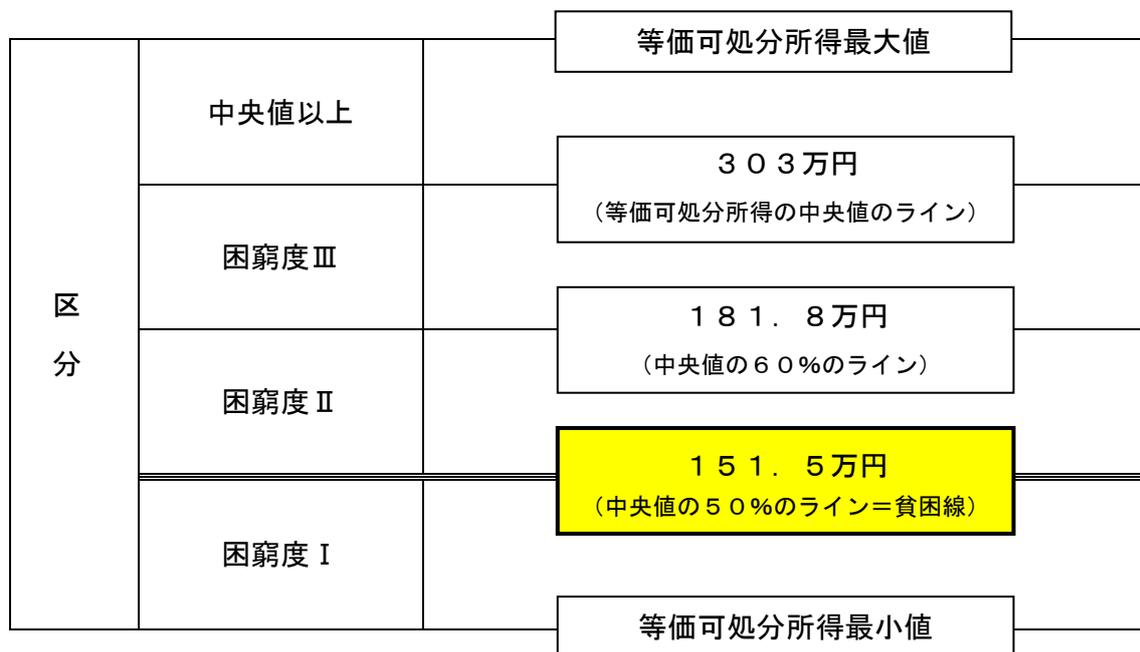
★「困窮度」の考え方

家庭の経済状況の目安となる「困窮度」の考え方については、保護者から回答のあった世帯所得を基に「等価可処分所得」を試算し、以下のとおり、困窮の程度を4つの区分に分類しました。

※「等価可処分所得」：世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得区分。世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人員数の平方根」を用いています。

	基準	枚方市の回答割合
中央値以上	等価可処分所得中央値（本調査では303万円）以上	50.2%
困窮度Ⅲ	等価可処分所得中央値未満で、中央値の60%以上 （181.8万円～303万円未満）	30.9%
困窮度Ⅱ	等価可処分所得中央値の60%未満で、中央値の50%以上 （151.5万円～181.8万円未満）	5.6%
困窮度Ⅰ	等価可処分所得中央値の50%未満（＝貧困線未満） （151.5万円未満）	13.3%

【困窮度区分のイメージ】



【参考】

枚方市の中央値は303万円、相対的貧困率（国の定める基準）は13.3%。

大阪府内全自治体の中央値は280万円、相対的貧困率（国の定める基準）は15.9%。